

▼「高齢者虐待」にあたる行為

- ◆身体的虐待・・・暴力を振るう、殴る、つねる、蹴る、無理やり食事を口に入れるなど。
- ◆心理的虐待・・・言葉や態度で精神的な苦痛をあたえるなど。
- ◆介護・世話の放棄・放任・・・介護や世話をしない。または結果として、していないなど。
- ◆経済的虐待・・・財産やお金を勝手に使う。正当な理由もなくお金を使わせないなど。
- ◆性的虐待・・・本人がいやがる性的な行為やその強要など。

高齢者虐待をなくすために

～地域で支え合いましょう～

高齢者虐待の問題を誰もが見過ごさず、地域みんなで高齢者や介護する家族を支え、虐待を防ぎましょう。

■高齢者虐待相談窓口

白鷹町地域包括支援センター ☎86-0112

「高齢者虐待」の発見の手がかりとなる「虐待の危険サイン」を見逃さないようにしましょう

●高齢者の様子から

- 不自然なけがや傷がある
- 急におびえたり怖がる
- 無気力、投げやりである
- 栄養失調、脱水症状がみられる
- 悪臭がしたり、服が汚れている等不衛生な状態である
- お金があるのにサービス利用料や生活費の支払いができない
- 傷やあざの説明のつじつまがあわない、話したがらない
- 体重が不自然に増えたり、減ったりする

●養護者の様子から

- 介護に疲れている
- 無気力、投げやりである
- 高齢者を怒鳴る、“しつけ”とって叩く
- 高齢者の世話に対する不平・不満が多い
- 介護サービスを受けさせない
- 高齢者を親戚や友人等と会わせない
- 保健・福祉の担当者とうのを嫌うようになる
- 高齢者に関する話題をさける

←あなたの身のまわりに思い当たる
ことがあれば、白鷹町地域包括支援
センターに相談してください。



高齢者虐待の早期発見のためのチェックリスト

地域で支え合おう！

気づいたときはひと声かけて

虐待が起きる理由は様々で、虐待をされている人だけでなく、虐待をしている人に対する支援が必要な場合もあります。高齢者虐待はどこの家庭でも、だれにでも起こりうる身近な問題です。私たち一人ひとりが高齢者虐待に対する認識を深め、普段の生活の中で気がついたことや、できることから行動しましょう。

ポイント1／あたたかく見守る

介護が必要な高齢者のいる家庭を孤立させないよう、高齢者や介護している方をあたたかく見守りましょう。家族と高齢者を家庭という「密室」に閉じ込めないよう、疎遠になったときほど声をかける姿勢が大切です。「おはよう」「こんにちは」のあいさつからはじめましょう。

ポイント2／虐待かな？と思ったら

もし地域で虐待を疑うようなことに気づいたら自分ひとりで悩まず、どんな小さなことでも相談窓口で連絡してください。虐待かどうかの見極めや実際の対応は、白鷹町地域包括支援センターにまかせましょう。

ポイント3／地域で仲間づくり

上手な介護方法を知ることや、愚痴を言いあえる仲間を持つことも、介護を続ける大きなポイントです。